

第5回電気技術顕彰「でんきの礎^{いしづえ}」として5件を顕彰

～3月22日に授与式を挙行～

平成24年2月

社団法人 電気学会

会長 大久保 仁

電気学会は平成20年創立120周年を迎えましたが、その記念事業の一環として「社会生活に大きく貢献した電気技術」の功績を称え、その価値を多くの人に知ってもらい、電気技術への関心を持ってもらうことを目的に、技術的価値、社会的価値、あるいは学術的教育的価値のいずれかを有する約25年以上経過した電気技術の業績を「でんきの礎^{*1}」(One Step on Electro-Technology)として顕彰^{*2}しております。

(^{*1}: カテゴリーとして『モノ』『場所』『こと』『人』の4つを設定 ^{*2}: 「顕彰」とは「隠れた功績・善行などを称え、広く世間に知らせること」)

でんきの礎

—振り返れば未来が見える—

One Step on Electro-Technology
- Look Back to the Future -

第1回では「秋葉原(秋葉原駅周辺の電気街)」などの10件(16顕彰先)、第2回では「電気釜」などの5件(8顕彰先)、第3回では「ウォークマン」などの4件(6顕彰先)、そして昨年の第4回では「高柳健次郎と全電子式テレビジョン」などの6件(7顕彰先)を選定しました。

今年(2012年)は、次の5件(5顕彰先)を選定いたしました。

(顕彰名称50音順)

顕彰名称	顕彰先
NE式写真電送装置	日本電気(株)
家庭用ビデオと放送番組視聴の実現	ソニー(株)
カドニカ(密閉型ニッケルカドミウム蓄電池)	パナソニックグループ エナジー社 三洋電機(株)
PC-9800シリーズ	NEC パーソナルコンピュータ(株)
依佐美送信所と超長波による初の欧州との無線通信	依佐美送信所記念館(刈谷市)

つきましては、平成24年全国大会の特別講演に合わせて下記のとおり授与式を行いますので、お誘い合わせのうえぜひご参加ください。(詳細は別紙参照)

平成24年電気学会全国大会 特別講演式・授与式(案)

日時 3月22日(木) 午後2時から5時35分

場所 広島工業大学 ネクサス21 デネブホール(1F)

次第 午後2時10分～4時30分 中国電機工程学会 副会長による講演および特別講演2件

午後4時50分～5時35分 <<授与式>>第5回電気技術の顕彰制度『でんきの礎』授与式

引き続き当学会の重要事業のひとつとして「でんきの礎」の選定を行っていく所存ですので、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。(第6回につきましては現在候補の推薦を公募中(2月末日締切)です。)

<添付>

別紙1: 第5回「でんきの礎」詳細

別紙2: 授与式案内

記念品として差し上げている

クリスタルトロフィー(右)

青銅プレート(下)



<本件に関するお問合せ先>

社団法人 電気学会 総務課 顕彰担当

e-mail jimkyoku@iee.or.jp

電話 03-3221-7312

以上

*この原稿の電子データは <http://www.iee.or.jp/ishizue.html> に掲載しています。

	<p>NE 式写真電送装置</p> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 日本電気 (株)</p> <p>【顕彰理由】 日本電気株式会社の丹羽保次郎と小林正次らは、写真画像を電気信号に変えて送受する NE 式写真電送装置を 1928(昭和 3)年に開発した。新聞各社はその年の 11 月に行われた昭和天皇即位の大典に際し写真電送技術を導入し、NE 式も外国の技術と並んで採用された。電送結果は高く評価され、この分野の国産技術発展に道を開いた。</p> <p>(左写真は NE 式写真電送装置と発明者の丹羽(左)・小林(右))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：日本電気 (株)</p>
	<p>家庭用ビデオと放送番組視聴の実現</p> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 ソニー (株)</p> <p>【顕彰理由】 ソニー株式会社は、放送業務用の大型ビデオテープレコーダーを小型化し、誰もが普通に使えるものを世界で初めて実現した。さらに家庭用ビデオテープレコーダーを、テープのカセット化を実現した U-matic 方式とともに Beta 方式を、それぞれ開発・商品化した。米国における著作権裁判に勝訴し、放送番組を家庭で自由に楽しめるビデオ録画を可能とした。</p> <p>(左写真は世界初のオールトランジスタ式家庭用ビデオテープレコーダー「CV-2000」)</p> <p style="text-align: right;">写真提供：ソニー (株)</p>
	<p>カドニカ(密閉型ニッケルカドミウム蓄電池)</p> <p>[カテゴリー] モノ</p> <p>【顕彰先】 パナソニックグループ エナジー社 三洋電機 (株)</p> <p>【顕彰理由】 1961 年に開発された、日本初密閉型ニッケルカドミウム蓄電池「カドニカ」は、二次電池の先駆けであり、現在も世界中で使用され、ブランド認知率 85%の充電電池「eneloop (エネルーブ)」の起源となった技術である。カドニカは、携帯電話などのモバイル機器、ハイブリッド自動車の普及にも多大に貢献し、我々の生活スタイルを大きく変化した。</p> <p>(左写真は現在の「カドニカ」商品 (例))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：パナソニックグループ エナジー社 三洋電機 (株)</p>
	<p>PC-9800 シリーズ</p> <p>[カテゴリー] モノ/こと</p> <p>【顕彰先】 NEC パーソナルコンピュータ (株)</p> <p>【顕彰理由】 パーソナルコンピュータ PC-9800 シリーズの初代機 PC-9801(1982 年発売)は、高速演算、日本語処理などの機能を備え解析時間が大幅に短縮されたことから、日本の教育研究機関や企業の設計製造部門へ多数導入され研究開発を加速させた。全盛期には日本国内で圧倒的なシェアを占め「きゅつぱち」の愛称で親しまれ、我が国の IT 社会実現に大きく貢献した。</p> <p>(左写真は初代機 PC-9801)</p> <p style="text-align: right;">写真提供：NEC パーソナルコンピュータ (株)</p>
	<p>依佐美送信所と超長波による初の欧州との無線通信</p> <p>[カテゴリー] モノ/こと/場所</p> <p>【顕彰先】 依佐美送信所記念館(刈谷市)</p> <p>【顕彰理由】 依佐美送信所は、1929 (昭和 4) 年、愛知県碧海郡依佐美村 (現刈谷市) に対欧無線局として設立され、超長波による日本から欧州への送信を初めて行い、国際通信施設として重要な役割を果たした。高さ 250m・間隔 480m の鉄塔 8 基を 2 列に配置して懸架された送信空中線、当時世界最大規模の 700kVA 高周波発電機などで構成された送信設備であった。</p> <p>(左写真は当時の依佐美送信所本館と鉄塔 (当時の絵葉書))</p> <p style="text-align: right;">写真提供：依佐美送信所ガイドボランティアの会提供)</p>

平成 24 年電気学会全国大会 特別講演・授与式のご案内

○特別講演・授与式（一般無料開放）

日 時：平成 24 年 3 月 22 日（木）14 時から 17 時 35 分（予定）

会 場：広島工業大学 ネクサス 21 デネブホール（1 階）

次 第： 14:00～14:10：会長挨拶

14:10～14:40：中国工程電機学会副会長の講演

14:40～15:40：特別講演 三村泰臣 氏（広島工業大学教授）

「秀吉の時代の舞が息づく広島の新楽」

15:50～16:30：特別講演 合原一幸 氏（東京大学教授）

「数学で世界を理解する（仮題）」

16:50～17:35：第 5 回電気技術の顕彰制度「でんきの礎」授与式

17:35～17:45：受賞者と会長の写真撮影（予定）

○懇親会

日 時：3 月 22 日（木）18 時から 20 時（予定）

会 場：広島工業大学 ネクサス 21 リーフガーデン（2 階）

○会場住所

広島工業大学 五日市キャンパス ネクサス 21（広島市佐伯区三宅 2-1-1）

交通アクセス・キャンパスマップは下記の広島工業大学ホームページでご覧になれます。

（<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/>）

全国大会ホームページ：<http://www.iee.or.jp/taikai.html>

電気学会のホームページ[大会・研究会，行事]で逐次最新の詳細情報を公開しています。

以上